

脳脊髄液中のJCウイルス(JCV)の検査支援による 進行性多巣性白質脳症(PML)のサーベイランス

研究分担者：国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸

脳脊髄液JCVのPCR検査と実験室サーベイランス



実験室サーベイランス

医療機関への検査支援(2007年～)

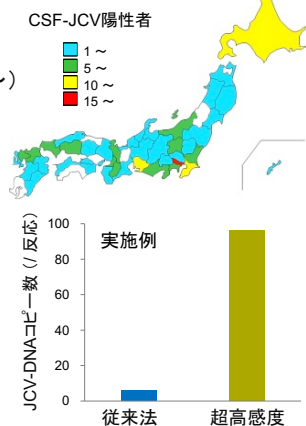
患者情報のデータベース解析

超高感度PCR検査(2016年～)

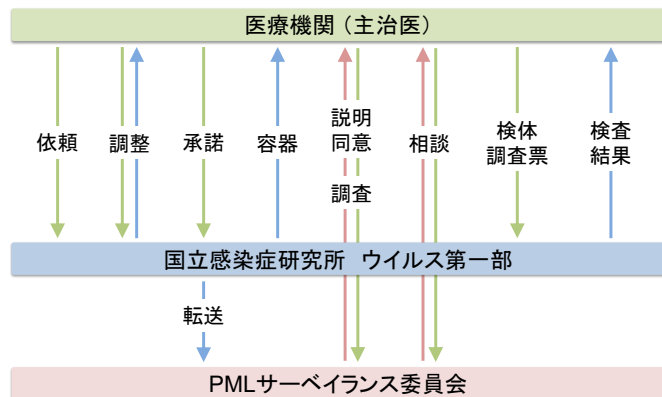
超高感度JCV検査の検出下限値

従来法 200 コピー/mL

超高感度 10 コピー/mL



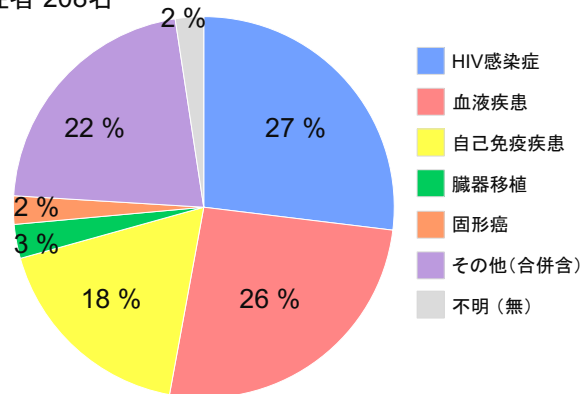
脳脊髄液JCV検査を基としたPMLサーベイランス



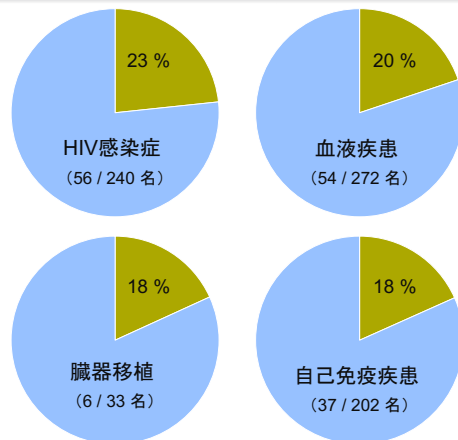
脳脊髄液JCV陽性者の基礎疾患



陽性者 208名



検査対象者における脳脊髄液JCV陽性者の割合



解 説

1. 医療機関からPMLの診療のための脳脊髄液中JCVのPCR検査を受け付け、PMLの実験室サーベイランスを継続した。平成19～30年度において約1,874件の検査を実施し、208名が陽性を呈した。
2. 近年では、全身性エリテマトーデスや多発性硬化症等の自己免疫疾患を有する患者におけるPMLが増加傾向にあり、今後も注視する必要がある。